年間授業計画 新様式例

高等学校 令和ｰ6 年　　音楽　　科目 音楽

教　科： 芸術　　科　目： 音楽　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組 3 組

教科担当者：（ 1組：小林正彦 3組：小林正彦 ）

使用教科書：（ 教育芸術社 高校生の音楽 1 ）

教科 音楽　　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに，意図に基づいて表現するための技能を身に付けるよ

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり，芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心 情を育むとともに，感性を高め， 心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い，豊かな情操を培う。

科目 音楽　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史 的背景などとの関わり及び音楽 の多様性について理解するとともに，創意工夫を生かした音楽表 現をするために必要な技能を身 に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表 現を創意工夫することや，音楽 を評価しながらよさや美しさを 自ら味わって聴くことができる ようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い 活動に取り組み，生涯にわたり 音楽を愛好する心情を育むとと もに，感性を高め，音楽文化に 親しみ，音楽によって生活や社 会を明るく豊かなものにしてい く態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元1 斉唱・合唱Ⅰ 【知識及び技能】 曲想と歌詞との関わりについて理解している 技能 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言 葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している 【思考力、判断力、表現力等】 音色、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりに ついて考え、どのように歌うかについて表現意図をもって臨んでいる。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい発声を身に付けて表現を創意工夫することに関心をもち、 主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている 指導項目・内容 口をしっかり開けて歌えるようにする 言葉をはっきりと発音できるようにする 歌詞の意味を理解させる 歌詞の意味と歌い方を指導する	・指導事項 校歌、翼をください、少年時代、この道、野ばら、君と見た海 ・教材 教科書 ・LCTの活用	【知識・技能】様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。姿勢や呼吸などの身体の使い方の技能，他者との調和を意識して歌う技能を身に付け，歌唱で表している。 【思考・判断・表現】 音色，リズム，旋律，テクスチュアを知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】親しみやすいJ-POPの歌の二部合唱，音楽を幅広く様々な視点から捉えようとすることに関心をもち，主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている.	○	○	○	16
	単元2 鑑賞Ⅰ 【知識及び技能】各時代の音楽の特徴と文化的・歴史的背景を理解している。各時代の音楽家の生涯を正しく理解し、社会との関わりや音楽家の心情を理解することができる 【思考力、判断力、表現力等】その時代の特徴や社会を正しく理解し、現代と比較したり、社会と音楽家との関わりを知ることにより、作品が作られた背景を理解し、同時代・異時代の音楽家を比較研究したりすることにより、音楽の構造や音色等の違いを認識することができる。 【学びに向かう力、人間性等】主体的・協動的に授業に参加し、提出物やワークシートの管理・提出を怠ることなく楽しく授業に臨んでいる。	・指導事項 ルネサンス、古典派、ロマン派、近代音楽 ・教材 教科書 ・LCTの活用	【知識・技能】音楽の特徴と文化的・歴史的背景，他の芸術との関わり，伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。 【思考・判断・表現】音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに，曲や演奏に対する評価とその根拠，音楽表現の共通性や固有性について考え，音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【主体的に学習に取り組む態度】オーケストラの様々な楽器の音色や響き，表現上の効果に関心をもち，主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	14

2学期	単元3　　斉唱・合唱Ⅱ 【知識及び技能】 　曲想と歌詞との関わりについて理解している 技能　創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言 葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している 【思考力、判断力、表現力等】 音色、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりに ついて考え、どのように歌うかについて表現意図をもって臨んでいる。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい発声を身に付けて表現を創意工夫することに関心をもち、 主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている 指導項目・内容 口をしっかり開けて歌えるようにする 言葉をはっきりと発音できるようにする 歌詞の意味を理解させる 歌詞の意味と歌い方を指導する	・指導事項　サンタルチア、虹、ホールニューワールド、 ・教材　教科書 ・LCTの活用	【知識・技能】様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。姿勢や呼吸などの身体の使い方の技能，他者との調和を意識して歌う技能を身に付け，歌唱で表している。 【思考・判断・表現】親しみやすいJ-POPの歌の二部合唱，音楽を幅広く様々な視点から捉えようとすることに関心をもち，主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 音色，リズム，旋律，テクスチュアを知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	15
	単元4　器楽Ⅰ 【知識及び技能】楽器の持つ特性を理解し、音階や曲が正しい指で正確に弾くことができる。 　楽器の構造や性能を理解することにより、その楽器にふさわしい技術を習得し、練習に参加することができる。 【思考力、判断力、表現力等】楽典で学習した音符の知識を活用して楽譜を読み取り、演奏ができる。 いろいろな曲の曲想を理解し、その曲に合ったテンポや強弱で演奏時に楽曲を表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】自ら進んで楽器練習に向かう態度が伺える。 また楽器練習で得た知識や技術を発展させて主体的協動的に学習することができる。	・指導事項　音階と和音、エリーゼのために ・教材　キーボード ・LCTの活用	【知識・技能】表現や鑑賞の「知識」に関する諸事項について理解している。 【思考・判断・表現】音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，形式，構成などを知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，歌唱や器楽表現としてどのように表すかについて表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】２学期の音楽学習のまとめとしての器楽アンサンブルや合唱の発表，独唱のテストに関心をもち，主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	13

3学期	5 単元　　斉唱・合唱Ⅲ 【知識及び技能】 　曲想と歌詞との関わりについて理解している 技能　創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言 葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している 【思考力、判断力、表現力等】 音色、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりに ついて考え、どのように歌うかについて表現意図をもって臨んでいる。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい発声を身に付けて表現を創意工夫することに関心をもち、 主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている 指導項目・内容 口をしっかり開けて歌えるようにする 言葉をはっきりと発音できるようにする 歌詞の意味を理解させる 歌詞の意味と歌い方を指導する	・指導事項　流浪の民、ベートーヴェン第九、 ・教材　教科書 ・LCTの活用	【知識・技能】様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。姿勢や呼吸などの身体の使い方の技能，他者との調和を意識して歌う技能を身に付け，歌唱で表している。 【思考・判断・表現】音楽を幅広く様々な視点から捉えようとすることに関心をもち，主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 音色，リズム，旋律，テクスチュアを知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 音楽を幅広く様々な視点から捉えようとすることに関心をもち，主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	6 単元　鑑賞Ⅱ 【知識及び技能】各時代の音楽の特徴と文化的・歴史的背景を理解している。各時代の音楽家の生涯を正しく理解し、社会との関わりや音楽家の心情を理解することができる 【思考力、判断力、表現力等】その時代の特徴や社会を正しく理解し、現代と比較したり、社会と音楽家との関わりを知ることにより、作品が作られた背景を理解し、同時代・異時代の音楽家を比較研究したりすることにより、音楽の構造や音色等の違いを認識することができる。 【学びに向かう力、人間性等】主体的・協動的に授業に参加し、提出物やワークシートの管理・提出を怠ることなく楽しく授業に臨んでいる。	・指導事項　バレエ、ミュージカル、オペラ ・教材　教科書 ・LCTの活用	【知識・技能】音楽の特徴と文化的・歴史的背景，他の芸術との関わり，伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。 【思考・判断・表現】音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに，曲や演奏に対する評価とその根拠，音楽表現の共通性や固有性について考え，音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【主体的に学習に取り組む態度】オーケストラの様々な楽器の音色や響き，表現上の効果に関心をもち，主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	6 合計 70